

# 「花の郵便屋さん」

地域との絆を深める活動をとおして育てる忠恕の心  
～小中学校と地域の心をつないで～

## はじめに

深谷市では、渋沢栄一翁の「立志の精神」と「忠恕の心」を受け継ぎ、夢とこころざしをもち、まごころと思いやりの心を育てる教育を推進している。本校では、忠恕の心を育てる行事として「花の郵便屋さん」活動を行っている。



## 花の郵便屋さんとは

10年以上にわたって続く、地域と学校が手をつなぎあって推進している事業である。もともとは、南公民館のコーディネートの下、みなみガーデニング倶楽部や民生児童委員の協力で、本校生徒が一人暮らしの高齢者へ花の鉢植えをプレゼントしてきた。

昨年度から、市教育委員会の応援も得て、本中学校区の桜ヶ丘小、深谷西小と連携した取組へと発展している。

## 小学校から中学校への引き継ぎ

桜ヶ丘小と深谷西小の児童が、ビオラの花に水やりをして育て、メッセージの手紙を作成する。引継式にて、小学生からガーデニング倶楽部と民生児童委員、中学校生徒の代表が受け取り、その思いを引き継ぐ。



## カード作り

有志の生徒が花に添えるメッセージカードを作成する。今年は90名以上の生徒が参加した。



## 寄せ植えづくり

小学校から引き継いだ花の苗を、ボランティア生徒とガーデニング倶楽部により、寄せ植えにして、鉢植えをつくる。12月の寒い日に80名以上の生徒が参加した。



## 配達

自治会ごとに民生児童委員と一緒に、高齢者の家を訪問し届ける。今年度は、クリスマスイブの日約60名の生徒が配達に当たった。



配達のご案内をお願いした民生児童委員からは、「毎年、この配達をお年寄りが楽しみにしているの。本当に喜んでくれるの。」

高齢者の喜ぶ顔を見て、生徒からは、「来年もまたやりたい。」「この活動に参加して本当によかった。」という声が聞かれた。



## この事業を支えているベース

本校では、春先の「ふかや花フェスタ」での花壇公開や花壇整備「花はなプラン」など、市の取組をいかして、「花」をキーワードに年間通じてボランティア参加する機会を設定している。

毎月、南地区の小中学校長が自治会長会議、民生児童委員会議に出席するなど、年間通して地域と情報交換を行っている。また、隣の深谷中学校区と共同で、毎月、小中学校6校の校長で連絡協議会を開催し、小中連携を図っている。そして、何よりも、子どもを、学校を、応援してくださる地域の姿勢が根底にある。